

科目名	特別研究指導演習	科目コード	8049	単位数	2
担当者名	阿部 秀明	開講時期	2 後	開講年次	2年次

● 授業の到達目標及びテーマ

修士論文の完成。既存の研究水準を理解し、オリジナリティのある独創的な論文の作成を助言します。また、問題意識（研究目的・課題等）が明確で、論旨（全体の整合性等）が明確である論文に仕上げ、さらに論文が使用しているデータの信頼性、調査方法の妥当性について確認し助言します。授業計画1週目 タイトルと論文内容との整合性について確認し助言する。

● 授業の概要

学生個々人の研究テーマに応じた研究指導を行う。これまでの研究水準を理解し、そのレベルにおいて、オリジナリティのある独創的な論文の作成を指導する。問題意識（研究目的・課題等）が明確で、論旨（全体の整合性等）が明確である論文に仕上げるよう指導する。論文が使用しているデータの信頼性、調査方法の妥当性、さらに新しい知見が見出されるかを基準に論文指導を行う。こうして修得した知識および技能を基に、自ら課題を発見し解決する能力を身につける。

● 授業計画

- 1週目 タイトルと論文内容との整合性について確認し助言する。
- 2週目 要旨の簡潔性と明瞭性について確認し助言する。
- 3週目 緒言の重要性と必要性について確認し助言する。
- 4週目 研究方法における手法の普遍性、現性について確認し助言する。
- 5週目 研究結果における新規発見の表現力、図表の適格性について確認し助言する。
- 6週目 考察における論理の妥当性、明確な展開について確認し助言する。
- 7週目 総括における緒言との整合性、結論に基づく将来の展望について確認し助言する。
- 8週目 参考文献・資料における個々の文献・資料の必要性について確認し助言する。
- 9週目 口頭発表の位置づけと構成について確認し助言する。
- 10週目 口頭発表のスライドおよび発表原稿の作成方法について確認し助言する。
- 11週目 口頭発表の質疑および応答における一般常識について確認し助言する。
- 12週目 発表結果の論文へのフィードバックについて確認し助言する。
- 13週目 研究結果の社会的意義について確認し助言する。
- 14週目 指導教授と協議のうえで、修士論文の草稿作成について確認し助言する。
- 15週目 指導教授による修士論文のまとめ、最終チェック等の際に確認、助言を行う。
- 16週目 補足とまとめ

● テキスト

随時資料を配布する。

● 参考書・参考資料等

各自の研究テーマに応じて、講義の際に適宜提示する。

● 成績評価の方法・基準

修士論文の研究水準などによって評価する。

● 更新日付

2019/02/04 03:02